

◇◇近畿病院図書室協議会◇◇

平成 22 年度 第 37 回 総 会 報 告

日時：平成 23 年 3 月 24 日（木）

14：15～16：00

会場：神戸国際会館

総会プログラム

開会

1 会長挨拶

2 議長・副議長・書記 選出

議長：畑 美之

副議長：久保 郁美

書記：浅井 裕子

3 議案審議

1) 平成 22 年度活動報告

2) 平成 22 年度会計・監査報告

3) 平成 23 年度活動方針

4) 平成 23 年度事業計画

5) 平成 23 年度予算

6) 役員改選

7) 協議会会則の改正について

8) 平成 23 年度会長・事務局長承認

(議案 3)～(8) は審議の結果承認された)

閉会

総会員数：127 機関（うち議決権 123 機関）

出席：35 機関

委任状：75 機関

合計：120 機関（会員の 3/2 以上の数を
みだし総会成立）

議案 I. 平成 22 年度活動報告

近畿病院図書室協議会では 2010 年の事業活動として、昨年度と同様に、近畿病院図書室協議会所蔵目録 Web 版（Kinki Webcat）のメンテ

ナンス、研修会開催、会誌発行などを中心に行った。懸案事項のホームページの改修作業はようやく一段落し、多少の不具合は残っているが、情報の発信・共有に力を発揮している。当協議会の運営にあたる幹事会は、今年度は新たに 2 名の幹事が加わり、10 名となった。若い力を迎え、いろいろな面でリニューアルをはかった一年といえよう。

継続事業のうち、教育研修活動では、定例の研修会を 3 回（うち 1 回は事例研究報告会）開催した。また、勉強会として新任向け並びに「パワーポイントの使い方」をテーマに 2 回行った。第 124 回研修会は 2011 年 3 月 24 日に「事例・研究報告会」として例年と同様、第 37 回総会と同時に開催する。今年度の研修会は第 124 回以外は各研修会とも土曜日に設定した。近畿圏外からの参加もあり、交流の場としての役割も果たすことができた。

出版広報活動では、会誌「病院図書館」30 巻を定期刊行した。創刊 30 周年を記念して特集を組んだほか、連載や報告記事など各号ユニークな内容となった。ただ、依然として発行状況は遅れ気味であり、会員並びに購読していただいている読者へ、年度内発行という責務を果たせなかったことが残念である。来年度発行に向けて期待に応えるべく真摯に取り組んでいる。

当協議会ホームページは、2010 年 8 月にリニューアルし、見やすさ、使いやすさを重視したものとなっている。まだ未着手の部分もあるので、順次作業を行う予定である。

会員向けの広報としてニュースレターを No. 6～No. 13 の 8 回配信した。各部の活動状況や今後の予定など、会員への情報伝達ツールとしての役割が大きくなっている。

医学文献情報活動の中心となる Kinki Webcat

は、申込書の一部変更など相互貸借マニュアルに沿ったものになるよう、また会員から要望のあったものなどをふまえ5月に改修した。今後相互利用が問題なく行えるよう、会員への啓蒙活動も含め環境整備を行う。会員からの疑問・質問、不具合への対応、広報などには例年通り目録サポートチームが当たった。

今年度の統計調査は詳細調査の年に当たった。調査票発送時に到着確認を行うなど、細かな対応をはかったところ、昨年度を上回る回収率となった。集計結果は2011年2月中旬に発送した。

今年度は初めての試みとして、地域交流会を行った。初年度開催は近畿圏から始めることにした。第一回は京都、第二回は神戸で開催し、各回とも16名の参加があった。日頃の悩み、疑問などを忌憚なく話し合うことができ、参加者からは好評を得ている。来年度以降も地域を拡げ開催していきたい。

対外交流では、今年度は特に大きなイベントはなかったが、DRF 主題ワークショップ(医学・看護学) in 奈良を後援した。

日本医学図書館協会とは、会員間の文献相互貸借など従来通り交流を深めた。また、近畿地区医学図書館協議会、日本薬学図書館協会近畿・中四国・九州地区協議会との共催のシンポジウムを10月に大阪で開催した。そのほか、日本病院ライブラリー協会や各地区の病院図書館ネットワークとは、それぞれ会誌交換や寄稿などの交流を行った。

今年度の研究助成金制度の活用については、3年間の成果をもとに広報の仕方、開始のタイミング、報告方法などについて再検討を行っている。

I-1. 各部からの報告

I-1-1. 研修部

1. 活動報告

2回の勉強会、3回の研修会、1回の共催シンポジウムを開催した。

(1) 研修企画

第30回勉強会

日 程：2010年7月24日(土)

時 間：14:00~17:00

場 所：奈良社会保険病院 図書室・会議室

プログラム：

- ① 近畿病院図書室協議会について
- ② 病院図書館の基本業務(整理と保管)
- ③ Kinki Webcatの使い方
- ④ 文献入手(ILL)について

講 師：研修部員(①②林、③④藤原)

参加者数：7名

第122回研修会

日 程：2010年9月25日(土)

時 間：10:00~16:30

場 所：大阪ハイテクノロジー専門学校
2階PCルーム

テーマ：データベースの基本

プログラム：

- ① JDream IIの使い方 基礎編
科学技術振興機構(JST) 情報提供部
西日本支所 首藤 晶子
- ② バーコードラベルをつくろう
三菱京都病院図書室 井上智奈美
- ③ PubMedの使い方 基礎編
京都府立医科大学附属図書館
山下 ユミ

参加者数：33名(会員29名、非会員4名)

平成22年度 医学図書館協会近畿地区会/日本薬学図書館協会近畿・中四国・九州地区協議会/近畿病院図書室協議会 共催シンポジウム

日 程：2010年10月25日(月)

時 間：13:00~16:40

場 所：大学コンソーシアム大阪

テーマ：エビデンス作成とライブラリアンの役割—「診療ガイドライン」と「コクランレビュー」を例として

プログラム：

- ① 日本医学図書館協会の診療ガイドライン作成支援事業に参加して

奈良県立医科大学附属図書館

医学情報係長 鈴木 孝明

- ② コクランレビューと図書館のかかわり
奈良県立医科大学医学部医学科
中央手術部助教 田中 優
- ③ 診療ガイドラインと図書館のかかわり
京都大学大学院医学研究科
薬剤疫学分野准教授 樋之津史郎

参加者数：8名

第123回研修会

日程：平成22年12月11日(土)

時間：10:30～16:40

場所：住友病院

テーマ：スキルアップを支援する！

—看護職編—

プログラム：

- ① 受動喫煙と子どもの健康について
住友病院小児科診療部長
兼 医学研究図書部長 塚本 浩子
- ② 専門看護師の機能と役割について
姫路聖マリア病院
老人看護専門看護師 得居みのり
- ③ チームにおける感染管理看護師の役割
社会保険神戸中央病院
感染管理認定看護師 高橋 尚子
- ④ 日本看護協会図書館の情報提供サービスについて：最新看護索引webを中心に
日本看護協会図書館 今泉 千代
- ⑤ 住友病院医学図書室見学

参加者：19名(会員18名、賛助会員1名)

第31回勉強会

日程：2011年1月29日(土)

時間：12:30～17:00

場所：大阪ハイテクノロジー専門学校
2階PCルーム

テーマ：効果的なプレゼンテーション
—Power Pointを使いこなそう！

プログラム：

- ① 近畿病院図書室協議会ホームページの紹介

兵庫県立光風病院図書室

ホームページワーキンググループ

佐藤 道子

- ② 初心者向けPC基礎講座(Power Pointダイジェスト)
- ③ 基礎講座PowerPoint図表の活用
- ④ プレゼンテーション～ワンランク上の魅せる資料作成

株式会社ブレンスタッフコンサルタンツ

所属 インストラクター

平山、波多野

参加者数：27名(会員26名、非会員1名)

第124回研修会

日程：2011年3月24日(木)

時間：10:00～12:00

場所：神戸国際会館

テーマ：事例・研究報告会

プログラム：

- ① 掲示物を使った図書館づくりとコミュニケーション
～公共・学校図書館での経験をもとにして～
豊橋市民病院 柴田真由美
- ② 当院図書室の資料複製ルールについて
関西労災病院 寺澤 裕子
- ③ 相互貸借(ILL)について ～2病院の実際をとおしてみえること～
大阪警察病院 畑 美之
京都桂病院 椎木 淳美
- ④ 当院図書室の相互利用における文献複写業務
京都第二赤十字病院 川野 眞樹

(2) 研修部会議

第1回 2010年6月20日(日) 京都 4名

第2回 2010年7月24日(土) 奈良 4名

第3回 2010年9月25日(土) 大阪 6名

今年度は3名が新たに研修部員に加わり、継続の3名との合計6名で運営した。企画方針としては、2回の通常研修会、小規模勉強会、1人1台のパソコンを使用した夜間3回シリーズの

勉強会などを掲げた。夜間勉強会については、研修部員の参集が難しく、土曜日午後半日の勉強会に置き換え開催した。研修部会議は、勉強会や研修会の前後の時間を利用したり、電子メールにて会議を行った。

(3) 勉強会

第30回は、新規入会機関の担当者と新任担当者を対象とした。土曜日の午後の開催であったが、参加者は新任担当者2名であった。参加者数が少なかったため、来年度は会場へのアクセスや開催時期を検討し、新任者・新任担当者に直接コンタクトをとるなど改善したい。

第31回は、1人1台のPCが利用できる会場で、リニューアルした当協議会ホームページの案内と、コンピュータソフト Microsoft Power Point の使用法をテーマに開催した。Power Point は業務や医師の支援などで使用することも多く、盛況であった。

(4) 研修会

第122回は、会場のアクセスも良く、1人1台のPCを利用できる恵まれた環境での開催であった。データベースは、特に経験の浅い担当者でもわかるよう基礎的なレベルで講義いただいた。今後、中級・上級と発展させていきたい。

第123回は、会員病院の施設を会場として開催した。内容も専門看護師や認定看護師とし、医療についての新たな資格や役割について理解を深める機会となった。今後も各職種への情報提供を充実させることを目標に、さまざまな職種の講師に講義いただく。図書室見学は、図書館担当者にとって業務の参考になる取り組みが直接伝わる機会であり、好評であった。今後も会員施設に協力いただき、見学の機会を設けたい。

2. 今年度活動報告

今年度は研修部長をはじめ新たな部員が加わり、慣れないながらも何とか例年と同回数勉強会・研修会を開催することができた。

昨年度、研修会交通費助成の提案があったが、引き継いで実現に結びつけることができなかった。

来年度は実現させたい。

また、8月に事務局を中心として初の試みとなる地域交流会が開催された。地域交流会に参加した会員より、業務で疑問に思っていることや、研修会・勉強会で取り上げてほしいテーマを聞くことができ、研修会の企画構成のヒントを得ることができた。担当者の世代交代や異動により、経験の浅い担当者が増えているので、今年度はどれも基礎的な内容で講義をお願いした。今後、さらにレベルアップしていき、ベテラン担当者にも満足いただける内容にしたい。

10月にリニューアルしたホームページでは、PDFファイルにて勉強会や研修会配布資料の会員限定公開を開始した。遠方や事情により研修会に参加できない会員へのバックアップとして、今後さらに充実させていきたい。

3. 部員

部長：藤原 純子（洛和会音羽病院）

部員：高橋 育子（姫路聖マリア病院）

田中 律子（大阪滋慶学園）

畑 美之（大阪警察病院）

林 伴子（社会保険神戸中央病院）

山口 智子（奈良社会保険病院）

I-1-2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌29巻3、4号および30巻1、2号を発行。
配布部数：212部（会員127、講読会員66、交換・寄贈19）

印刷部数：各号300部

(1) 会誌内容概略

29巻

3号（発行2010年7月46頁）

特集：魅力ある図書館（図書館自慢）

図書館員の片恋

あちゃんからお年寄りまで居心地の良い図書館をめざして～熊取町立熊取図書館の活動紹介～

私の図書館プチ自慢アンケート結果

図書館見学記

見学記番外編

4号(発行 2010年9月58頁)

特集:電子ブック

電子書籍の動向と図書館の役割

MD Consult プロダクトレビュー

STAT!Ref プロダクトレビュー

Lippincott Williams & Wilkins の電子ブック
コレクション

プロダクトレビュー “今日の診療 WEB 版”

シュプリングアの電子ブック:シュプリン
ガー・イーブック・コレクション

医学分野プロダクトレビュー

30巻

1号(発行 2010年12月58頁)

30巻発行記念号

特集:心に残る一冊

2号(発行 2011年1月64頁および別冊会員名
簿20頁)

特集:総会・事例報告会(第121回研修会)

NACSIS-ILL 参加報告 —よりよい相互貸
借をめざして—

看護研究入門者への支援 —5年間の振り返
りと学び—

ピクトグラムについて

近畿病院図書館協議会アンケート報告

総会記念講演:ベアトリクス・ポター

(Beatrix Potter) の遺産

(2) シリーズ掲載

「いますぐ役立つホームページ」

28. 病院情報局 (Vol. 29 No. 4)

29. WEB 患者図書館 (Vol. 30 No. 2)

「図書館員のツボ」

12. いろいろな病院名 (Vol. 29 No. 3)

13. 図書館法改定 (Vol. 29 No. 4)

14. 「魅せる」プレゼンテーション—味方に
つけよう!!! クリップアート—前編
(Vol. 30 No. 1)

15. 「魅せる」プレゼンテーション—味方に
つけよう!!! クリップアート—後編
(Vol. 30 No. 2)

「Libpedia—よくわかる用語解説—」

1. 看護教育 (Vol. 30 No. 1)

「ちょっとこぼれ話」

28. (Vol. 29 No. 3)

29. (Vol. 29 No. 4)

(3) 掲載広告各社

サンメディア

ユサコ

医学中央雑誌刊行会

丸善

南江堂

科学技術振興機構 (Vol. 29 No. 4 まで)

ベルブック (Vol. 29 No. 4 まで)

ナカバヤシ (Vol. 29 No. 4 まで)

(4) 編集会議

第1回 2010年5月16日(土) 茨木 5名

第2回 2010年7月10日(土) 茨木 5名

第3回 2010年11月27日(土) 茨木 5名

第4回 2011年3月12日(土) 茨木 5名

2. 今年度総括

今年度は会誌が第30巻を刊行する年にあたり
特集を組んだ。30巻という数字もさることなが
ら、先輩方に執筆していただいた祝辞を編集し
ていて会誌編集部の歴史に触れ、その一端を
担っていることの重責と意義を改めて感じられ
たのは、私たちにとって収穫であった。30巻記
念として、表紙を「病院図書室」時代のものに
復刻し、マウスパッドを製作して全会員に配布
した。また図書の出版作業も進行中で、この図
書は会員のみならず、医療系図書館界で喜ばれ
る内容になると期待している。

今年度は1月までに会誌を4冊発行でき、内
容にも自負はあるが、まだ発行の遅れを取り戻
せるところまでは来ていない。今後ますます努
力を重ね、みなさまに喜ばれる会誌でありたい
と考えている。

3. 部員

部長:増田 徹(藍野大学)

部員:井上 智奈美(三菱京都病院)

寺澤 裕子(関西労災病院)

松尾 知香 (石切生喜病院)
若杉 亜矢 (松下記念病院)

I-1-3. 統計調査部

今年度の統計調査は、平成 21 年度の会員図書館の実状について調査した。

調査項目は「詳細」と「簡易」を隔年交互に実施しているが、今年度は詳細調査の年にあたり、年次統計調査と図書室機能調査の両方を実施した。

1. 図書室統計調査報告書の発行

- a. 調査対象期間：平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日
- b. 調査対象：全 128 会員施設中、賛助会員を除く 124 施設に依頼。
- c. 調査項目：年度統計調査および図書室機能調査
- d. 作業経過
 - 2010 年 8 月 15 日 調査用紙を各施設へ発送
 - 2010 年 8 月 20 日 ホームページに統計調査発送の告知と回答依頼
 - 2010 年 8 月 31 日 受領通知書締切日
 - 2010 年 9 月 13 日 受領通知書未提出施設へ確認の FAX 送信
 - 2010 年 9 月 30 日 回答締切日
 - 2010 年 11 月 30 日 回答最終締切
 - 2011 年 2 月 13 日 統計調査報告書発送

e. 回答施設：96 施設 (回答率 77.4%)

2. 文献の相互利用—平成 21 年度協議会全体での件数—

〈相互貸借依頼〉(96 施設)

協議会会員	8,573	(20.20%)
会員以外の病院	6,151	(14.50%)
大学図書館	16,463	(38.80%)
文献手配業者	9,195	(21.70%)
国立国会図書館	1,041	(2.50%)
その他	966	(2.30%)
	42,389	(100.00%)

〈相互貸借受付〉(96 施設)

協議会会員	9,758	(50.60%)
会員以外の病院	7,613	(39.50%)
その他	1,910	(9.90%)
	19,281	(100.00%)

(2011 年 2 月 10 日)

3. 経費

支出：

調査用紙コピー代	5,952 円
依頼状発送費	9,920 円
報告書コピー代	28,672 円
報告書発送費	10,240 円

4. 部員

武田 昭子 (刈谷豊田総合病院)

I-1-4. ホームページワーキンググループ

1. 活動報告

- 2010 年 8 月 ホームページリニューアル
- 2010 年 8 月 会員専用 ID・パスワード (全会員同一) を会員宛に郵送
- 2010 年 9 月 ホスティングサービス、ドメイン維持契約更新
- 2011 年 4 月 会員専用 ID・パスワード変更予定

2. 経費

支出：

ドメイン取得費用	5,040 円
ドメイン取得事務手数料	3,150 円
ランニング費用 (スタンダードコース/CGI 利用)	10,500 円/月 (126,000 円/年)
ホームページ作成リニューアル (残額)	315,000 円

3. 今年度総括

会員ならびに幹事一同の協力により、ようやくホームページをリニューアルすることができた。リニューアル後のホームページは、自動更新システム、会員専用ページを設けるなど、これまでになかった機能が加えられ、より使いやすく便利なものとなった。

今後の課題として、まずは会員専用ページなど新しい機能についての使い方を会員へ周知し、利用を促進することで会員間の交流を実現させる。次に、当協議会の顔として恥じないよう、より一層ホームページの内容を充実させていくことを目標とする。

2年後の2012年8月には、再度ホームページの内容を見直したい。

4. 部 員

佐藤 道子 (兵庫県立光風病院)

I-1-5. 目録サポートチーム

1. 概 要

近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web 版 (通称: Kinki Webcat)

<http://webcat.sunmedia.jp/khlacat/>

2011年1月現在

登録機関数: 122 機関

登録タイトル数: 4,234 タイトル

所蔵レコード数: 30,559 レコード

2. 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web 版 (通称: Kinki Webcat) 利用状況

2010年(1~12月)

トップページアクセス: 41,626

雑誌検索利用ログ: 96,616

機関検索利用ログ: 10,146

3. 経 費

支出:

雑誌目録 Web サイト年間保守料

(2009.09~2010.08) 1年: 105,000円

4. 今年度総括

今年度は新たに1名新部員を迎え目録サポートチームは5名で活動した。また部会には部員だけでなく、近畿病院図書室協議会会員からモニターとして活動に参加してもらい、会員意見としてより利用しやすいKinki Webcatになるよう協議した。今後も会員からの意見を取り入れ、会員間の円滑な文献複写の相互利用に繋げていきたい。

Kinki Webcat 機能改善のための改修を2010

年5月24日に行った。同時に電子資料への対応として、メディカルオンラインの一括登録も行い、現在は13施設がKinki Webcatにメディカルオンラインを登録している。

登録タイトル数の増加、書誌データの整備が進んでおり、引き続き、最新データへの更新とデータ整合性の保持に努め、電子資料への対応を進めていく。

2010年12月にはKinki Webcatのログインパスワードの変更希望受付を各会員へ送付した。同様の働きかけを今後も年1回程度継続して行く、会員のKinki Webcatの利用を促していく。また、来年度は円滑な会員間の相互利用を目指し相互利用のマナーについて確認を行っていきたいと考えている。

5. 部 員

部 長: 川野 真樹 (京都第二赤十字病院)

部 員: 春日井泉江 (名古屋記念病院)

高須賀京子 (松山市民病院)

高橋真由美 (鳥根県立中央病院)

林 伴子 (社会保険神戸中央病院)

I-1-6. 会員業績 (当協議会内関係での発表は除く)

(1) 高橋真由美

発表 「薬剤科の図書室勉強会」

第19回鳥根県医療関係機関等図書館(室)

懇談会総会(鳥根)2010.9.14

I-2. その他

I-2-1. 幹事会

今年度は4回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。

第1回 2010年4月28日(水)大阪9名

第2回 2010年7月21日(水)大阪10名

第3回 2010年10月27日(水)大阪8名

第4回 2011年1月19日(水)大阪9名

I-2-2. 役員会

2011年2月15日、社会保険神戸中央病院に

において平成 22 年度役員会が開催された。役員会資料（平成 22 年度議案書草案）に沿って議事進行し、平成 22 年度の活動報告、会計報告を審議し、一部語句の修正を加えて了承された。また、平成 23 年度の活動方針案、事業計画案、予算案についても同様に審議され、追加・訂正を加えて総会に諮ることになった。

次に、平成 23 年度会長については西尾 晃現会長（社会保険神戸中央病院）が再選された。また、事務局長には増田 徹氏（藍野大学中央図書館）が選出された。会則に則り、それぞれ今年度の第 37 回総会に諮ることになった。

I-2-3. 会員の状況 (2011 年 2 月現在)

会員数：127 機関（会員 123、賛助会員 4）
 入 会：2 機関（財団法人阪本精神病理学研究所、鳥取県立中央病院）
 退 会：1 機関（こころのケアセンター）

I-2-4. 対外交流

対外交流では、今年度は特に大きなイベントはなかったが、DRF 主題ワークショップ（医学・看護学）in 奈良を後援した。

日本医学図書館協会（JMLA）とは、会員間の文献相互貸借など従来通り交流を深めた。また、近畿地区医学図書館協議会、日本薬学図書館協会近畿・中四国・九州地区協議会との共催のシンポジウムを 10 月に大阪で開催した。開催にあたっては実行委員を派遣し、当日の会運営にあたった。当協議会からは JMLA 個人会員を含め 8 名の参加があった。

10 月に開催された日本医学図書館協会総会には当協議会から 1 名を派遣し、当日の資料などが提供されている。

そのほか、日本病院ライブラリー協会や各地区の病院図書館ネットワークとは、それぞれ会誌交換や寄稿などの交流を行った。

議案 II. 平成 22 年度会計・監査報告

(収入の部)

予算		決算	
費目	金額	費目	金額
前年度繰越金	2,199,432	前年度繰越金	2,199,432
会費		会費	
平成 22 年度		平成 22 年度	
@ 30,000×122	3,660,000	@ 30,000×113	3,390,000
@ 50,000×4	200,000		
平成 17-21 年度未納		平成 21 年度	
@ 30,000×35	1,050,000	@ 30,000×2	60,000
@ 50,000×4	200,000	@ 50,000×4	200,000
@ 40,000×1	40,000	@ 10,000×1事業収入	10,000
事業収入		会誌購読会費	
会誌購読会費		29 巻@ 6,000×10	60,000
平成 22 年度		30 巻@ 6,000×44	264,000
@ 6,000×70	420,000	29 巻@ 1,500×4	6,000
未納		30 巻@ 1,500×2	3,000
@ 6,000×36	216,000	その他の事業	
その他		第 122 回研修会参加費	
広告掲載料		会員外@ 1,500×4	6,000
29 巻	290,000	第 31 回勉強会参加費	
28 巻	330,000	会員外@ 1,000	1,000
		交流会参加費	
		会員外@ 1,000×2	2,000
		その他	
		交通費返金	8,560
		利用料	
		会誌利用料	6,000
		データ利用料	104
		広告掲載料	
		～29 巻	129,000
		利息	
		銀行	165
		ゆうちょ銀行	527
	8,605,432		6,345,788

(支出の部)

予算		決算	
費目	金額	費目	金額
総会費	150,000	総会費	105,985
業務委託費	50,000	業務委託費	16,600
事務費	100,000	事務費	40,709
通信費	100,000	通信費	117,100
交通費	350,000	交通費	204,900
事業費	6,700,000	事業費	3,152,664
会誌発行費	4,500,000	会誌発行費	1,890,250
研修会費	400,000	研修会費	232,462
目録サポート	600,000	目録サポート	420,420
web ワーキング	500,000	web ワーキング	451,546
研究助成	300,000	研究助成	0
統計調査	50,000	統計調査	54,784
総会参加助成金	150,000	総会参加助成金	58,020
その他の事業	200,000	その他の事業	45,182
対外活動費	300,000	対外活動費	26,500
資料費	45,000	資料費	20,916
資料管理費	50,000	資料管理費	22,680
会議費	50,000	会議費	22,978
予備費	650,000	予備費	0
雑費	60,432	雑費	0
	8,605,432		3,731,032

平成 22 年度 会計監査 単位 円

収入	金額	支出	金額
前年度繰越金	2,199,432	総会費	105,985
会費	3,660,000	業務委託費	16,600
平成 22 年度 @ 30,000×113	3,390,000	事務費	40,709
平成 21 年度 @ 3,000×2	60,000	通信費	117,100
@ 5,000×4	200,000	交通費	204,900
@ 10,000×1	10,000	事業費	3,152,664
事業収入		会誌発行費	1,890,250
会誌購読会費	333,000	研修会費	232,462
29 巻		目録サポート	420,420
@ 6,000×10	60,000	Web ワーキング	451,546
30 巻		研究援助	0
@ 6,000×44	264,000	統計調査	54,784
29 巻		総会参加助成金	58,020
@ 1,500×10	6,000	その他の事業	45,182
30 巻			
@ 1,500×2	3,000	対外活動費	26,500
その他の事業		資料費	20,916
第 122 回研修会参加費	9,000	資料管理費	22,680
会員外@ 1,500×1		会議費	22,978
第 31 回勉強会参加費	6,000	予備費	0
会員外@ 1,000×1		雑費	0
交流会参加費	1,000		
会員外@ 1,000×1			
その他	2,000		
交通費返金	144,356		
利用料	8,560		
会誌利用料			
アータ利用料	6,000		
広告掲載料	276,000		
～29 巻	104		
利息	129,000		
銀行	165		
ゆうちょ銀行	527		
計	6,345,788	計	3,731,032

次年度繰越金 2,614,032 円

上記決算については、会計監査を終了しました。

平成 23 年 3 月 16 日

田中文子 (印)

神口首香子 (印)

議案Ⅲ. 平成 23 年度活動方針

平成 22 年度同様、病院図書館を取り巻く状況の厳しさは変わらない。一方 IT 化がすすみ、病院図書館における電子ジャーナルの導入も増加してきた。予算削減を求められながらも効率のよい資料提供が求められる時代となってきている。図書館担当者の存在は保存管理活用というだけでなく、IT 環境の整備、情報ツールの管理運営という面も担うことになるのではないだろうか。安心で安全な医療を提供する基礎となる知識・情報提供の場として機能するよう、担当者がスキルアップすることが、病院図書館の

存在意義にかかわってくると考えられる。当協議会は、医療情報を担うエキスパートを養成することを期待され、それに応えるべく専門知識の習得の場として研修会、会誌を提供し、研修活動に取り組んできた。今後もこれを活動方針の基本と考える。

研修活動としては、2～3 回の研修会の開催と、実践能力を高めることができるような勉強会や、地域交流会の開催など多彩な企画を提案していきたい。

会誌「病院図書館」は平成 22 年度同様、会員のスキルアップにつながる記事を掲載していく。

ホームページは今年度リニューアルを行い、使いやすさ、見やすさなどが向上したが、一部未着手となっている。来年度はさらに改修を加え会員への情報提供と意見交換の場としたい。

Kinki Webcat は改修作業を継続する。電子メールによるニュースレターの配信は、今年度同様、年 4～6 回程度を目途に配信する。

幹事のあり方については先年よりの検討課題である。昨年度に行ったアンケートでは幹事として活動することになかなか踏み切れない状況がかいま見られた。地域交流会などで、協力活動や当協議会運営の在り方について忌憚のない意見を出し合うことが当協議会事業の継続に不可欠であると考え。職場環境もあってなかなか協力できる体制にない担当者が多いのが実状であるが、そんな中でも何かできることがないか考えていくことが、協議会事業を継続するだけでなく、発展していくために必要であろう。

また、幹事の選出方法についても検討課題であるが、なかなか有効な手段を見いだせないでいる。一部の会員に負担のかからないよう、機関加盟の利点を生かした運営方法については今後も検討を加えていきたい。

平成 18 年度から研究助成金制度を開始したが、平成 22 年度の応募は継続の 1 件であった。今年度は広報の時機を逸したため、新規の研究助成を行えなかったが、今後は広報の在り方、研究開始の時期、成果の報告方法などを検討しながら

ら、事業としては継続し、平成 23 年度も年 10 万円、3 年の更新を可として新規・継続の申請を募集する。

総会への出席を促すために、一定の条件を設け、交通費などの助成を行うことについては今後も継続したい。

対外交流については、従来通り他の図書館ネットワークとの緊密な交流をはかっていく。各団体の研修会などへの参加については、報告義務などの条件を定めた上で助成を行うことで会員へ働きかけていきたい。

以上を総括して、平成 23 年度の当協議会活動は継続事業を進めつつ、新たな事業・目標を模索し、対外的にも広く協力活動を行い、運営・事業活動については新旧世代の交代を円滑にはかっていくことを課題とする。

議案Ⅳ. 平成 23 年度事業計画

1. 医学文献情報活動

- 医学雑誌現行情報の収集と目録のメンテナンス

2. 教育研修活動

- 研修会（セミナー形式）・勉強会の開催
- 研修会参加交通費の助成
- 関連団体の研究・研修会への案内と参加奨励
- 研究助成金制度の継続
- 総会参加助成制度の継続
- 地域交流会の継続

3. 出版広報活動

- 会誌「病院図書館」の季刊発行
- ホームページのメンテナンス
- 会誌・会報バックナンバーの収集保存
- ニュースレターの発行

4. 年次統計などの調査活動

- 年次統計と相互貸借の調査

5. 対外活動

- 関連団体との交流・連携

議案Ⅴ. 平成 23 年度予算案

単位：円

■収入の部		
科目	予算	備考
正会員会費	3,690,000	123 施設 × 30,000 円
賛助会員会費	200,000	4 施設 × 50,000 円
購読会員会費	390,000	65 施設 × 6,000 円
広告掲載料	232,000	31 巻 1-4 号 × 5 社
前年度繰越金	2,614,756	
計	7,126,756	
未収金	574,000	購読会員会費 19 施設 × 6000, 30(3-4) 2 施設 × 3000 = 120,000 円 広告掲載料 174,000 円 2010 年度新規入会未請求 2 施設 × 4 万円 = 8 万円 2010 年度賛助会員会費未請求 4 施設 × 5 万円 = 20 万円
合計	7,700,756	

会費未収金 ※今年度予算に含まず	1,290,000	※会費未収金は 2011 年度中に回収作業を行い、平成 24 年度予算で使途を決める。
---------------------	-----------	---

■支出の部		
科目	予算	備考
〔事業費〕		
研修部	400,000	
会誌編集部	300,000	30 巻 3-4 号、31 巻 1-4 号分
統計調査部	60,000	
目録サポート	100,000	
Hp ワーキング	20,000	
対外活動費	100,000	関連団体への派遣費用
その他事業	760,000	研究助成金 3 件 × 10 万円、交流会 4 回 × 5 万、新規事業など
事業費合計	1,740,000	
〔管理費〕		
会誌発行費	3,600,000	30 巻 3-4 号、31 巻 6 号分 × 40 万、本出版費用 120 万円
目録メンテナンス費	500,000	
Hp メンテナンス費	500,000	
資料費	25,000	
資料管理費	50,000	
会議費	100,000	総会、幹事会
旅費交通費	300,000	総会参加助成金 3 万円 × 5 人を含む
通信運搬費	100,000	
印刷製本費	50,000	総会資料
諸謝金	55,000	総会特別講師 5 万円
消耗品費	30,000	
業務委託費	20,000	
予備費	600,000	災害見舞金 5 万円 × 5 協議会など
雑費	30,756	
管理費合計	5,960,756	
合計	7,700,756	